

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の数学では、「数と式」や「中央値を求める」設問などが、高い正答率でした。国語では、「聞き取り」や「漢字の読み書き」などが、高い正答率でした。特に質問紙調査の結果では、国語の「勉強が好きで、授業の内容がよく分かる」「将来、社会に出たときに役に立つ」と考える生徒が、全国平均を大きく上回りました。これは、毎週末に「滴一滴」の書き写し学習に取り組むことで、読み書き・要点のまとめなど基礎の定着を図り、世の中の出来事に対する自分の考えをもてるように指導してきたことが、意欲向上に良い影響を与えていると考えられます。

質問紙調査の結果から、電子メディアの「使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の質問で、「きちんと守っている」と回答した生徒が、全国平均を上回っています。これは、中学校区でオフメディアウィークを設定し、定期考査の2週間前から電子メディアに費やす時間を意識して学習計画表を作成し実践する取組が、意識付けになっていると考えられます。

課題と対応

国語では、「言葉の意味の理解」に課題があることが分かりました。授業でも辞書を活用し日頃から辞書を引くことを習慣化していきます。数学では、「扇形の中心角と弧の長さや面積との関係についての理解」など、第1学年で学習した内容の理解に課題があることが分かりました。高校入試の対策として基礎問題の反復練習や單元ごとの小テストを行うことで、これまでの学習内容の定着を図ります。

質問紙調査の結果から、家庭学習の時間が年々短くなっていることが分かりました。家庭学習の実態を把握し、教科担当や学級担任から、家庭学習の内容の工夫や個に応じた学習方法を示すなど、学習状況の改善につながるよう取り組みます。また、「授業でのICT機器の活用」が不十分であることが分かりました。本校も1人1台端末を整備して運用を開始しており、今後、ICT機器を活用した教育の一層の充実を図っていきます。

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査の結果では、全国平均と比べて自己肯定感が高く、「やると決めたことは、やり遂げるようにしている」と回答した生徒の割合も高くなりました。また、学校生活や友達との協力を楽しいと感じる生徒が多く、人助けやいじめを許さない意識も高く、正しい倫理観が育まれています。これは、学校教育だけでなく、家族や地域との関わりの中で培われたものであると考えます。特に、地域の行事への参加や地域への関心がある生徒の割合が高く、全国平均を大きく上回っています。コロナ禍とはいえ、地域の支えを日頃から感じていることの表れだと考えます。今後も、生徒の健全な心身の成長のために、ともに連携して進めることができるように、一層のご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	慣用句の意味を理解することができており、質問の意図を捉えている。
	社会	歴史（安土桃山時代）についてよく理解している。
	数学	資料の整理の単元はよく理解・定着ができています。
	理科	肥料と成長、日光と成長との関係を調べるために、比較する実験を考えることができる。
	英語	場面に応じた英語による表現を理解している。
	学習状況	話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
第2学年	国語	慣用句の意味を理解することができている。
	社会	記述式の解答形式についてはよくできており、普段取り組んでいる成果が現れた。
	数学	数と式の数量を文字を使って表す分野についてよく理解している。
	理科	質量パーセント濃度の計算を理解している。溶質の取り出し方として蒸発があることを説明できる。
	英語	英文を聞いて対話の内容を聞き取り、適切に応答することができている。
	学習状況	将来の夢をもち、学習に取り組むことができている。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	文脈に即して漢字を正しく書くことや、登場人物の心情を描写を基に捉えることができていない。	国語科では、文章読解の際に漢字にも着目させたり、本文の表現に線を引かせたり、図や表などを活用したりして、登場人物の心情を描写とともに読み取る力を定着させる。 社会科では、様々な社会的事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察する力を身に付けさせる。 数学科では、思考・判断・表現が弱いため、思考力を問う問題を多く解くことで、数学的な力を身に付けさせる。 理科では、学習内容を文章でまとめる活動を毎時間授業で取り入れて、自分の考えを記述できる力を定着させる。 英語科では、月や曜日など日常生活でよく使用する単語を会話練習でしっかり活用し、音声からの定着を図る。 学習状況については、自主勉強用の毎トレノートを中心に、家庭学習の定着を図る。
	社会	明治時代以降の出来事（条約改正や戦争など）が理解できていない。	
	数学	比例の関係の理解度が低い。また整数の性質を使って数を求めたり説明したりすることに課題がある。	
	理科	分析して考察したり、性質を文章で説明したりする問題に課題がある。	
	英語	月や曜日など、日常生活でよく使用する単語の定着ができていない。	
	学習状況	家庭学習時間が少なく、学習の定着度が低い。	
第2学年	国語	読解力に課題がある。	国語科では、読解力の低さは語彙力の低さが原因の一つと考えられるため、単元ごとに語句調べに丁寧に取り組ませ、語彙力向上とともに読解力の向上を図る。 社会科では、資料活用、知識・理解などの問題を小テストや問題プリントを使いながら反復学習を行い、定着を図る。 数学科では、基本問題の演習を取り入れるとともに図形の理解度を向上させるため、立体模型を使い、興味やイメージをもたせる活動を多く取り入れる。 理科では、実験・観察をする際に、手順や注意点に加え、使用する器具そのものについて丁寧に説明していく。 英語科では、基本的な単語や文法を会話練習やペアワークの中で積極的に取り入れ、発話や書き取りの中で定着を図る。 学習状況については、家庭学習が十分定着していないため、自主学習と夕学を関連付け、定着を図っていく。
	社会	知識・理解に課題がある。	
	数学	全体的にどの分野も正答率が低い結果になっているが、特に図形の分野に課題が見られる。	
	理科	顕微鏡の使い方はある程度理解しているが、その性質についての理解に課題がある。	
	英語	既習の文法や単語を使って、文脈から語形や語法を理解することに課題がある。	
	学習状況	家庭での学習の定着がまだ不完全である。	

【保護者・学区の方へのお願い】

学校では、学習の三原則（コツコツやる・繰り返しやる・分かるまでやる）を基本に指導してまいります。ご家庭でも、まず基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯・家庭学習時間の確保）が身に付くようご支援ください。また、お子様の自ら学ぼうとする意欲につながるような温かい声かけをよろしくお願ひします。